

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 4日

事業所名 通所 ひばり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・スペースが広く十分確保できている ・利用人数や利用者の状態によってフロア、ベッド使用など検討している
	2	職員の配置数は適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・配置基準は満たしている ・必要時は他部署からの応援体制が取れている ・安全面を配慮し配置している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・状態、状況に応じてパーテーションなどを使用し環境を整えている ・バリアフリー化されており、生活しやすい環境である(機械浴、リフト、トイレなど) ・車いす、バギー、ベッドでの移動は問題なく行える ・利用者の特性に合わせたコミュニケーションツールで対応している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症をはじめ、感染対策を図っている ・室温、湿度は個々の体温調節機能を考慮し調整している。 ・活動に合わせた環境整備、フロア内の装飾を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランに沿って、業務を行い、スタッフ間で情報共有に努めている ・お互いが他者の意見を尊重し、意見を出しやすい環境である
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等の意向はスタッフ間で共有し、話し合いの場を設け検討し改善につなげている ・評価、意向について管理者とともに定例会議の議題にとりあげ検討している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による評価は行われていない。 ・母体施設も含め今後の検討課題である ・R3年度監査を受け、重要事項説明書の見直し
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・母体施設内での研修は可能な限り参加し業務の都合上難しい時はwebで受講している。施設外についてもズームなど参加可能な場合は受講している ・日中活動支援協議会に参加(全スタッフ)。通所での取り組みに反映していきたい
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が主となりニーズなどを確認し立案モニタリングを元にスタッフと話し合い計画作成している ・日々の観察、支援状況からもアセスメントを行いモニタリング内容と合わせて分析し計画作成している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害へのツールを使用 ・対象が重度であり医療的ケアを必要とするため、標準を踏まえ、さらに必要な項目を加えたアセスメントとなっている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿って設定し、支援内容を個別支援計画に表記している ・保護者がわかりやすく、評価しやすいように支援会議で話し合っている ・個別性を重視して具体的な内容となるように支援内容を設定している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に細かく内容が記載されているので、計画を把握し確認しながら支援することができている ・計画に沿って、日々の活動で取り組みやすいよう書き出し、実施後チェックできるように一覧表にしている。他職種(PT)と共有して行うようにしている

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 年間プラン、月間プラン、個別対応などカンファレンスを行い、意見を出し合い立案し、共通認識を図っている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> アイデアを出し合っている 季節の行事を取り入れ、年間を通して様々なプログラムを実施し内容も毎年同じにならないよう振り返り計画している。また定期的に評価している。 療育活動、行事計画、作品作りなど計画的に活動している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性に応じた個別、集団での活動、行事等を取り入れ成長を引き出せるように計画されている 医療的ケア、安全が優先であるが、可能な限り集団活動も行い、他者との交流や他者認識の場を設けている
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全確保を優先に人員、配置は必ず行っている。 毎日業務に入る前に全員で確認している ホワイトボードなどを利用し1日の流れをみえるようにしているため流れをつかみやすい
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 改善点も、よかった点も共有し次につなげられるようにしている 気づいた点など報告、申し送っている。また気になる点は確認している 当日できない時は翌日などできるだけ早く振り返りを行っている 何でも情報共有し話し合うことができている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の記録、モニタリングにて振り返りながら日々の支援につなげている ご家族や生活背景などの情報も支援の検証などにつなげている 定期的な評価ができるよう記録を行い、支援の改善につなげられている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月に1回以上モニタリングを実施している 確認し、見直し、必要に応じて追加する場もある
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 全体を把握している児童発達支援管理責任者が参画している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理責任者が主となって行っている 保育園利用者あり。保護者を通じて保育園と情報共有する場を設け連携している
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> コロナもあり直接的には連携は難しい部分はある 児童発達支援管理責任者が主に行い情報共有している 医療に関しては施設の外来を利用されている方もいるので連携できている(リハビリも同様) 各機関と情報共有し、地域と合同の勉強会も開催した 母体施設が医療型障害者入所施設であるため医療連携に問題は無い。地域における協議会等にも積極的に参加している
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ病院、主治医を把握し緊急時に備えている。施設内でも医師と連携し緊急時に備えている 直接もしくは母体施設の地域連携室とも共同で対応している
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> コロナもあり直接的には連携は難しい部分はある 保育園利用者あり。保護者を通じて保育園と情報共有する場を設け連携している ご家族を通しての情報収集、情報共有がほとんどである。各機関との情報共有もニーズに応じて行っていく必要がある 母体法人が委託された県医療的ケア児支援センターと連携を図り対応している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 就学予定あり、児童発達支援管理責任者が主となって実施するが、情報をスタッフ全体でも把握している 保護者や相談支援を通して学校と連携している コロナもあり直接的には連携は難しい部分はある 母体法人が委託された県医療的ケア児支援センターと連携を図り対応している
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援を介して連携している。合同で研修会を実施(安全対策) 他の事業所での活動やケア方法、内容は個々の担当者会議等で児童発達支援管理責任者が情報収集しスタッフと共有している 母体法人が委託された県医療的ケア児支援センターと連携を図り対応している

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・長引くコロナ禍にあって実施できていない ・コロナもあり直接的には連携は難しい部分はある ・今後の見通しもついていない
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策のためオンラインで研修参加している ・児童発達支援管理責任者が参加
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時に情報を得て事業所での様子を伝え、常に共通理解の更新も行っている
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニングの支援は行っていないが、相談を受けたことに対し可能な限りお伝えしている ・保護者の困り感を把握して家族への助言も行っている ・母体施設にはペアレントトレーニング担当者もおり個別支援実施
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行い、その都度必要時に説明を行っている ・児童発達支援管理責任者や社会福祉士が主となって行っている
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に児童発達支援管理責任者が実施している
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時など、相談を受けた際はその都度対応している ・必要時には時間をとり適切に対応できていると思う ・相談内容をスタッフ間でも情報共有し、必要に応じて他部署と連携して適切な助言ができるようにしている ・悩みに対する相談に対してはスタッフで共有し、早急に対応するようにしている
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会は設立されていない。 ・コロナ禍で保護者会を実施できていない ・コロナが落ち着いた時期を見て実施したい(数家族単位でも)
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ体制を確認し可能な限り対応している
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ひばり通信を年2回発行している ・通信で日々の活動などをお知らせしている
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に同意を得ている。また作品展示、写真等を使用する際はその都度同意を得ている
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・来所時やお迎え時などお伝えしている ・利用者の特性に合わせたコミュニケーションツールで対応している。 ・個々に合わせて視覚情報も工夫し必要時選択する手段も設けている
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・長引くコロナ禍にあって実施できていない ・R5年度開催予定の50周年記念事業にてフェスタへの参加を計画
非常	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を定期的に行い、対応の見直しを行い、マニュアルなどの更新をその都度行っている ・様々な状況下での対応を想定している。行ったことは通信を通してお知らせしている。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行い、マニュアルの更新なども行っている ・他部署とも連携し災害時の対応についてシミュレーションを行った。 ・利用者の方も一緒に訓練を行っている ・避難方法、必要人員、持ち出し物品等一覧にしている
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・面談等の情報を共有し注意事項を日々確認し支援にあたっている ・服薬はマニュアルに沿ってお薬手帳と照合しダブルチェックしている。発作時の対応は必ず事前に確認している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
吊 時 等 の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・面談時アレルギーは必ず保護者に確認している。アレルギー情報を医師に報告し、その結果をもとに食事内容を栄養科へ相談し調整している ・アレルギーについては除去食で対応している。 ・食事提供時にも献立と食札で確認できるようにしている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全委員会の事例をスタッフ間で共有している ・部署内の事例はもちろん施設内の事例も共有し、必要時は対策を検討している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での研修に必ず参加 ・自己評価アンケートを実施している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載している ・面談時に保護者へ説明、同意を得ている ・安全を第一として必要な場合は内容を検討し保護者の同意を得てから行っている。 ・説明し同意を得たうえで6か月に1回毎の再検討会議を開催し、拘束の解除に向けた検討を実施している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。